



訪問ガイド 2026

シェーンブルン動物園

ウィーン・から 29€

<https://zoo-schonbrunn.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスperiences

起源 & 歴史

帝国動物園から現代の動物園へ

GOOGLE **4.7** ★★★★★ 62 096 レビュー

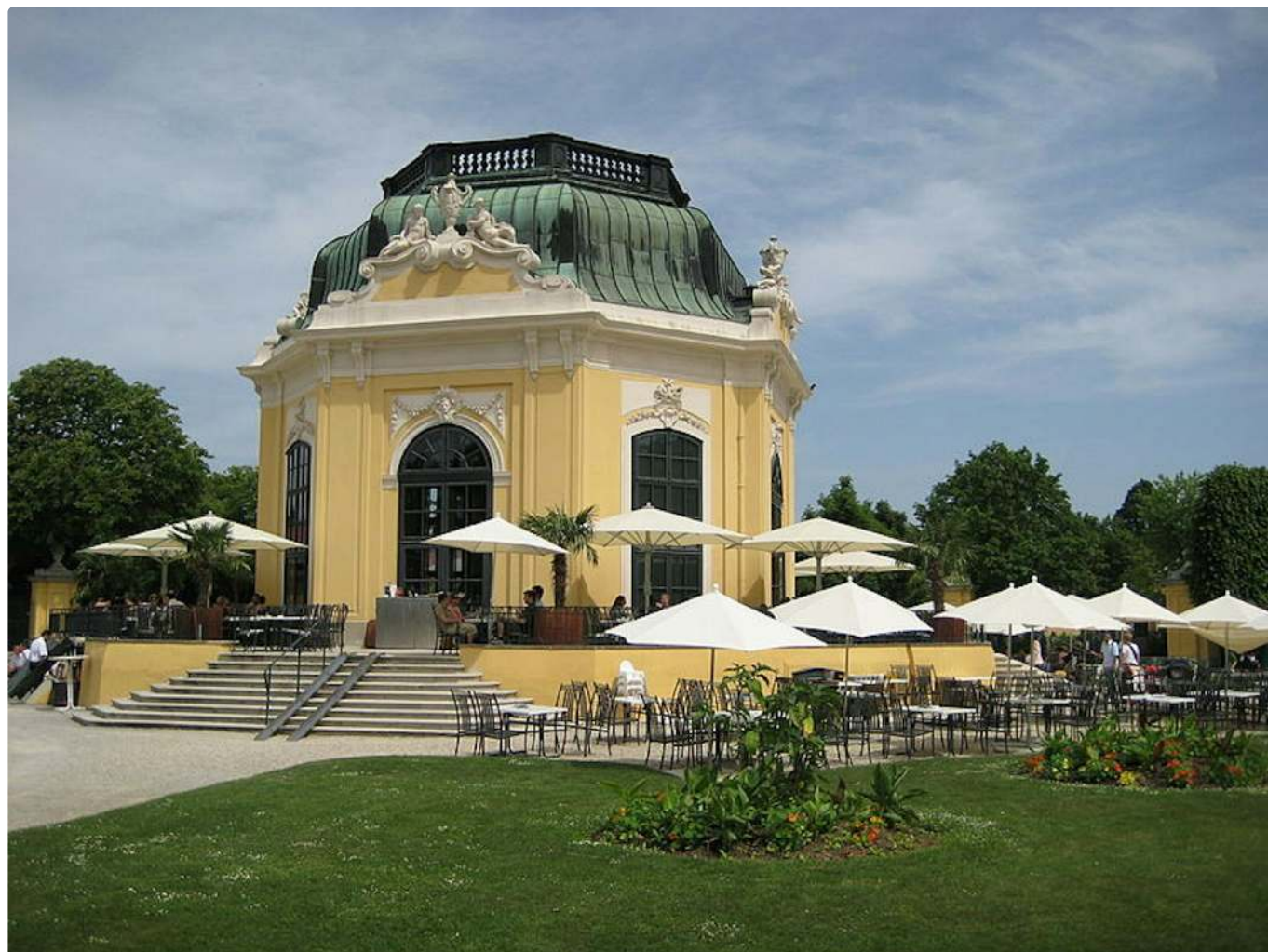
TIQETS **4.8** ★★★★★ 3 732 レビュー

シェーンブルン動物園の歴史は、1752年7月31日にフランツ1世皇帝が城の敷地内に私設動物園を開設したことから始まります。ヴェルサイユの王立動物園という高名なモデルを基に構築されたこの初期コレクションは、特権階級のみ限定されており、ハプスブルク帝国宮廷の絶対的な威厳を反映していた。この場所は、まだ近代的な意味での動物園ではなく、貴族の訪問者を魅了するために設けられた自然の珍奇品を収めた宝の箱であった。決定的な転換点は**1779年**に訪れ、この年に動物園はウィーンの市民に対して無料開放されました。この決定は、今日に至るまで続く文化的・自然環境へのアクセシビリティの長い伝統の始まりを象徴している。その後、この施設は歴史的な動乱期を経て、1919年の君主制の終焉後にオーストリア共和国の管理下に置かれ、1926年には現在の名称「シェーンブルン動物園 (Tiergarten Schönbrunn)」に改称し、科学的な動物園へとの変遷を象徴した。20世紀において、動物園はヨー

ロッパの生物学研究における主要な拠点としてその地位を確立した。**2002年**、オーストリアは建国250周年を記念して、5ユーロの銀製コレクションコインを発行しました。これは稀有な措置であり、この場所の遺産としての重要性を強調しています。この公園は、200年以上にわたり途切れることなく運営を続けており、世界で最も古い現役の動物園という独自の地位を確立している。これは、保全の要件に対するその回復力と絶え間ない適応力を示すものである。1992年以降、運営は民間企業「シェーンブルン動物園株式会社 (Schönbrunner Tiergarten - GesmbH)」が担っており、歴史的遺産を尊重しつつ、現代的な運営を保証しています。2020年以降、動物学者ステファン・ヘリング＝ハーゲンベックの指導のもと、この動物園はユネスコ世界遺産に登録された建築環境の中で、科学的研究の厳密性をさらに高めた上で、一般市民への教育と絶滅危惧種の保全を兼ね備えた使命を継続しています。

体験

マクシングシュトラッセの門をくぐった瞬間、バロックの優雅さと野性的な生命力が交差する独特の雰囲気一気に引き込まれる。壮大な柱を備えた皇居の建築様式は、17ヘクタールに及ぶ庭園の豊かな緑と調和のとれたコントラストを成しています。日差しが葉の間から差し込み、影の戯れを生み出し、丁寧に整えられた生息地の中で動物たちを静かに観察するよう誘う。その体験は、時間と空間を同時に旅するものである。ペンギン舎の極地のような雰囲気から、ウィーンを離れずにパームハウス（ヤシの館）の熱帯的な暖かさへと移ります。各通路は保全の物語を語り、観察される各動物は世界生物多様性の生きた証言となる。それは五感を完全に包み込む体験であり、鳥のさえずりと木々を揺らす風の息吹が、都市の喧騒から遠く離れた安らぎの交響楽を奏でる。



訪問の準備

実用的な情報

住所

第10区・地下鉄：ヒェーティング（U4線）またはシェーンブルン（U4線、トラム10/60号線）、選択した入口によって徒歩5〜10分。

開園時間

季節により営業時間が異なります。冬季の一時的な閉園がある場合もあります。ご来園前に正確な日付をご確認ください。

料金

年齢に応じた無料入園あり（バリエーションを確認してください）。{promo}。

所要時間

異なる生息環境をゆっくりと探索するには、最低2〜3時間を確保してください。北極から熱帯までの展示に加え、餌やりタイムも見逃さないようお過ごしください。

写真撮影

園内全域での個人撮影は許可されています。敏感な飼育舎付近では強いフラッシュを避け、手入れ中の「撮影禁止」区域にはご注意ください。

対象客層

自然に彩られた文化的な体験を求めるファミリーや文化愛好家に最適です。生物学の愛好家も、現代的な施設における科学的厳密性を高く評価するでしょう。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



地下鉄

: Hadikgasse — 8 min à pied

西駅 (13 min) ・ウィーン中央駅 (Südtiroler Platz) (19 min)



バス

: Tiroler Gasse — 4 min à pied

西駅 (20 min) ・Vienna Main train station (Südtiroler Platz) (29 min)



車

西駅 (13 min) ・Vienna Main train station (Südtiroler Platz) (20 min)



自転車

西駅 (16 min) ・Vienna Main train station (Südtiroler Platz) (26 min)

LOCALISATION

Où se trouve シェーンブルン動物園？



📍 Maxingstraße 13B – 1130 ウィーン

🌐 48°10.925' N, 16°18.167' E



組織

戦略的なルートとテーマ別エリア

北ゾーン（極地 & 大型哺乳類）

このゾーンには、象や大型草食動物のための広大な屋外空間が設けられています。飼育舎は景観に調和した広々とした設計で、動物たちが自由に移動できるようになっています。また、寒冷地種専用の施設も併設されており、パークの他のエリアとは対照的な雰囲気醸し出しています。

歴史センター（帝政パビリオン & パンダ）

ゾーンの心臓部であり、オリジナルの帝政パビリオンを中心に構成されています。ここにはジャイアントパンダの展示場があり、動物を直接見渡せるパノラマテラスからアクセスできます。城との近接性により、ヨーロッパで唯一無二の絵画的な景観が生まれています。

南ゾーン（熱帯と温室）

このセクションは高温多湿の気候に特化しています。砂漠の家（Wüstenhaus）や鳥類の家（Vogelhaus）、および屋外の熱帯エリアが含まれます。ここでは、アジアやオーストラリアの固有種が高密度で展示されており、植物が茂る濃厚な雰囲気が広がっています。

アクセシビリティ



車椅子アクセス

車椅子対応の設備を備えたメインコースはバリアフリーです。



ファミリー向け

イベントやミニトレインがあるため、お子様連れのご家族に最適です。



オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語, ドイツ語



必見スポット

選択

動物園の見どころ

01

皇帝の亭のテラス

ジャイアントパンダの囲い

ゾーの最大の目玉であり、ヤンヤンとラングファイの夫婦とその子フォーを収容しています。テラスからは自然な生息環境にいるパンダを一望でき、食事や社会的行動を観察できます。これらの希少種の存在により、この場所は国際的な名声を得ています。

💡 福隆（ふくりゅう）は2007年に生まれ、ヨーロッパで初めて自然交配によって生まれたパンダとなり、種の保全において歴史的な転換点となりました。

02

北エリア

ティロラーホーフ（ゾウ）

ゾウが半自然環境の中で暮らす広大な空間です。訪問者は、水浴びや休息のためのエリアを備えた、本来の生息地に近い環境でこれらの巨大な動物を観察できます。飼育舎の広大さは、公園の空間管理に対する感嘆を呼び起こします。

💡 ティロラーホーフの飼育舎は、動物の福祉を最大化するために設計されており、改修された歴史的建築要素が統合されています。

03

南ゾーン

Wüstenhaus（砂漠の家）

砂漠の動植物に特化した温室です。乾燥した環境に適応した爬虫類、ラクダ科動物、多肉植物を見ることができます。温度が管理されており、サハラやアラビアの条件を再現しているため、独特な雰囲気があります。

💡 この施設では、ウィーンの気候では屋外での飼育が困難なフェネックやオリックスなどの種を観察できます。

04

南エリア

鳥の館（Vogelhaus）

丘巻の規模を誇る屋根付き鳥園で、熱帯鳥類の驚くべき多様性を観察できます。鮮やかな羽の色と多彩な鳴き声が、強烈な視覚的・聴覚的な体験を生み出します。入場待ち行列が頻繁に発生するものの、動物園内で最も写真映えるスポットの一つです。

💡 鳥園は定期的に新しい種を導入されており、飼育繁殖プログラムに積極的に貢献しています。

05

熱帯地域

オーストラリアのコアラ

シェーンブルン動物園は、ヨーロッパでコアラを飼育している7つの動物園の一つであり、この希少性は多くの愛好家を惹きつけています。これらのオーストラリア原産の有袋類は、故郷の大陸に生息するユーカリの木々を再現した生息環境の中で展示されています。彼らの存在は、動物園が保全活動において国際的に尽力していることを示しています。

💡 ウィーンでのコアラの存在は、オーストラリアの機関との緊密な科学的協力関係の成果です。

06

北極地域

ハンボルトペンギン

北極産ではないものの、これらのペンギンは寒冷な水域ゾーンに展示されています。彼らの社会的行動や水との相互作用は絶えず見どころを提供します。囲い込みは、泳ぎや休息の活動を明確に観察できるよう設計されています。

💡 ハンボルトペンギンは、その小さな体と視認性の高さから、特に子どもたちに人気があります。

07

熱帯雨林

ボルネオオランウタン

オランウタンの個体は、森林の樹冠を模した複雑な木製構造の中で活動しています。給餌の場面では、その器用さと知性を観察することができます。この種はアジア類人猿の保護プログラムにおいて極めて重要です。

💡 シェーンブルン宮殿のオランウタンは、大型類人猿の認知能力に関する理解を深める行動学研究に参加しています。

08

北エリア

シベリアトラ

この荘厳な猫科動物は、運動の必要性に適した広々とした囲いの中で展示されています。その厚い毛皮と鋭い視線が訪問者を魅了します。白虎や繁殖メスの存在は、コレクションに重要な遺伝的次元を加えています。

💡 シェーンブルンでのシベリアトラの遺伝学的追跡は、ヨーロッパの個体群の多様性を維持するのに貢献しています。

アドバイス

最適な訪問のためのヒント

タイミング

09:00の開園と同時に到着し、学校グループの来場が殺到する前に静かな動物舎を楽しみ、パンダなどの人気スポットでの混雑を避けましょう。

見学ルート

まず北エリア（ゾウ）から始まり、中央のパンダエリアへ移動し、最後に熱帯温室で締めくくみましょう。これにより往復を避け、気候の移り変わりに沿った論理的な順路に沿って見学できます。

休憩

チロラーホーフのレストランで地元の料理を味わいながら休憩したり、近隣の公園でコーヒーを楽しんだりしてください。敷地面積が17ヘクタールと広いので、歩行距離も長くなりますので、こまめな休憩をお忘れなく。

オーディオガイド

オーディオガイドはフランス語で利用可能で、サイトの歴史や動物の生物学的な特徴を理解するには費用に見合う価値があります。単なる観察を超えて、訪問体験を大幅に豊かにします。

チケット

ウィーンパスに動物園への入場が含まれているか確認してください。含まれている場合は大幅な節約になります。含まれていない場合は、特にハイシーズンには優先入場特典を得るためにオンラインで予約することをお勧めします。

写真

皇居のテラスを利用して、背景に城を構えてパンダを撮影してください。敏感な飼育舎付近ではフラッシュの使用を避け、「写真禁止」区域の表示に従ってください。

子ども

展望ミニ鉄道は、子どもたちの疲労を軽減し、動物園の広大な敷地を楽しむための優れた手段です。ショーや餌やりタイムは、小さな訪問者たちに大変人気があります。

快適さ

メインルートは多くの歩行を伴うため、履き心地の良い靴を着用してください。天候により一部の二次アクセス路が閉鎖される可能性があるため、天気予報を確認してください。



よくある質問

よくある質問

事前予約は本当に必要ですか？

はい、特に繁忙期（6月から9月）や週末には事前予約を強くお勧めします。優先入場を保証し、回転式ゲートでの長い行列を避けることができます。閑散期には現地購入も可能ですが、待ち時間の保証はありません。

城＋動物園のセットチケットはまだ利用できますか？

このプランはよく提供されますが、厳格な有効条件が適用されます。購入時に両施設が同日に開園していることを必ずご確認ください。スケジュールが変わる可能性がある場合は、個別チケットの方が柔軟な代替手段となります。

現在プロモーションはありますか？

チケット販売プラットフォームでは定期的に期間限定オファーが表示されます。現在の割引については料金セクションをご覧ください。ウィーンで複数のアトラクションを訪れる予定であれば、Vienna PASSもお得な選択肢です。

チケットをキャンセルできますか？

購入時に選択したプランによります。一部のチケットは柔軟で24時間前まで返金可能ですが、そうでないものもあります。確認前に、チケットに関連する特定の条件をよくお読みください。

見学にはどのくらい時間がかかりますか？

主要な生息環境を完全に探索するには2〜3時間を見込んでください。パンダなどの特定の餌やりに参加したい場合は、時間帯が季節によって変わるため、追加の時間を確保してください。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

唯一のコレクション用コイン

オーストリアは2002年の250周年を記念し、動物園に特化した銀製5ユーロ硬貨を発行しました。この貨幣上の措置は、動物学的な機能を超えて、オーストリアの国家的アイデンティティにおける同サイトの文化的・歴史的な重要性を象徴しています。

ヴェルサイユの遺産

1752年に開園した元の動物園は、ヴェルサイユ王宮の動物園を直接的なモデルとして建設されました。このフランスの影響は、初期の建築様式やコレクションのキュレーション方針に見られ、この動物園をヨーロッパの威信ある伝統に根ざしています。

公開の遅れ

27年間、特権階級にのみ限定されていた動物園は、**1779**年に初めてウィーン市民が無料で入場できるようになりました。この遅れは、当時の社会の変化を反映しており、自然や珍しい動物へのアクセスは、文化的権利となる以前には社会的地位の象徴でした。

現代的なプライベート管理

1992年以降、この施設は民間企業「Schönbrunner Tiergarten - GesmbH」によって運営されています。この組織は、2020年より動物学者**Stephan Hering-Hagenbeck**氏の指揮のもと、現代的な基準で運営の継続性を確保し、保全に対する精密な科学的アプローチを保証しています。

博物館周辺

シェーンブルン広大な敷地内に位置する動物園は、訪問前後に充実した体験を提供する絶好のロケーションを誇っています。メインエントランスのすぐ隣には、象徴的な熱帯温室であるPalmenhausがあり、そのエキゾチックな植物群がボタニカル体験をさらに深めてくれます。本物のグルメ休憩をお求めなら、動物園の入口近くに位置する伝統的な宿「ティロラーホーフ」では、温かな雰囲気の中でオーストリアの郷土料理をご提供しています。ウィーンの全景を眺めたい場合は、丘の頂上に位置する見晴らし台「グローリエッテ」が絶好の写真撮影スポットとして素晴らしい眺望を提供します。最後に、ユネスコ世界遺産に登録されている帝国の居城であるシェーンブルン宮殿自体も同じ敷地内に位置しており、ハプスブルク家の歴史に完全に浸ることを可能にし、あなたの文化的・自然体験の一日を完璧に締めくくります。



シェーンブルン動物園を去ることは、単なる思い出を持ち帰るだけではない。この歴史的な場所の動物たちの尊厳と、時代を超えた美しさを心に刻み込むことである。パンダに魅了されようとも、帝政建築の壮麗さに驚嘆しようとも、この訪問は自然と歴史との深い結びつきをもたらします。お越しくください。このウィーンの宝石は、季節ごとに異なる顔を見せ、常に魅了し、インスピレーションを与えてくれるからです。